

# Theodore Dreiser 研究

▶ キーワード：自然主義文学、意識のながれ、モダニズム

▶ 研究概要：

19世紀末から20世紀半ばにかけて活躍したアメリカ人作家セオドア・ドライサーの研究をしています。当時急速に拡大した貧富の差を批判する作品を多く発表しました。現在、ドライサーの文体に関心をもち、ウィリアム・ジェイムズが提唱した「意識の流れ」という視点からドライサー文学を読み直し、モダニズム性を明らかにしたいと思っています。

▶ アピールポイント、どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

ドライサーの文体は長らく批判的となってきましたが、その入り組んだ文体にこそドライサーのモダニズム性が表現されていると考えています。文体の考察から、文学史におけるドライサーの位置づけの再考を図りたいと思っています。また日本では、新劇がドライサーの戯曲をいち早く舞台化しました。演劇が盛んな山形県で、日本の演劇とアメリカ文学のかかわりを研究したいと思っています。

▶ 研究者

教授 渡邊真由美

アメリカ文学

4 質の高い教育を  
みんなに



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう

